



《饗宴》 2007-2008年 333.3×745.5cm

巡りゆく 遠藤彰子展

2022年12月16日〔金〕〜2月12日〔日〕サントミューゼ 上田市立美術館

開館時間 9:00〜17:00 (最終入場は16:30まで) 休館日 火曜日、年末年始12月29日〔木〕〜1月3日〔火〕

観覧料 当日券 一般800(700)円、高校・大学生400(300)円、小・中学生200(100)円

※常設展示室の山本鼎コーナーもご覧いただけます。 ※()内は20名以上の団体 ※障害者手帳携帯者は半額、その介助者1名は無料

主催：遠藤彰子展実行委員会(長野二紀会・上田市・上田市教育委員会 後援：信濃毎日新聞社、NBS長野放送 協賛：小柳産業株式会社、ささや株式会社、有限会社東郷堂、みず、館本舗株式会社飯島商店 助成：公益財団法人朝日新聞文化財団 協力：南日本新聞社、株式会社青幻舎プロモーション



巡りゆく 遠藤彰子展

巨大画に犇めく 壮大な魂の物語



《楽園の住人たち》1974年 76.0×162.0cm

遠藤彰子は、現代を代表する洋画家で、1970年代から現在に至るまで自然や生命の循環といった根源的なテーマを追い求め、深い物語性を秘めた作品を精力的に発表し続けてきました。2014年には紫綬褒章を受章、教科書でも紹介されるなど、その功績は高く認められています。

本展では、遠藤彰子の創作の起点となった「楽園」シリーズ、画家として名を世に知らしめた「街」シリーズ、30年以上にわたり今も挑み続ける500号を超える「大作」シリーズと、2022年の最新作《山鳴りひびく》を含めた代表作約40点の絵画作品を変遷を追いながら一挙ご紹介いたします。

圧倒的なスケール感で迫る巨大な画面に、時空を超えて繰り広げられる壮大な無数の魂の物語をぜひ全身でご体感ください。



《部屋》1976年 162.0×130.0cm

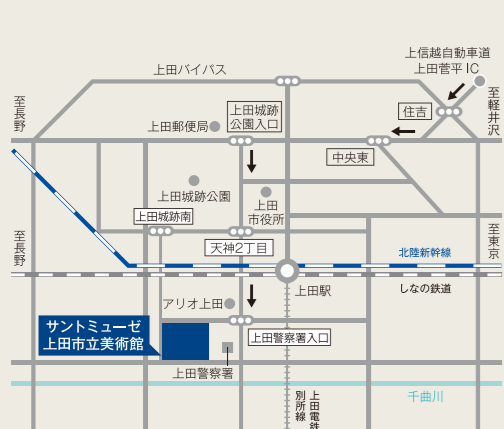


《みつめる空》1989年 248.5×333.3cm 相模原市蔵

《海響れゆけばただ仄かなる》2018年 333.3×497.0cm



《山鳴りひびく》2022年 333.3×497.0cm



■ アクセス
【お車で】上信越自動車道「上田菅平IC」から約15分 ※駐車場台数 390 台
【電車で】北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分

●お問い合わせ Santomyuze 上田市立美術館
〒386-0025 長野県上田市天神三丁目15番15号
tel.0268-27-2300
www.santomyuze.com

関連イベント *作家本人による

- 12月16日[金] 遠藤彰子 スライドトーク *
- 12月17日[土] 遠藤彰子 ワークショップ *
- 12月23日[金] 夜間観覧・作品解説
- 1月14日[土] 遠藤彰子 ワークショップ *
- 1月15日[日] 遠藤彰子 講演会 *

※全て要事前申込み
詳細はHPをご確認ください。▶▶▶▶



次回
展覧会 生誕100年
山下清展
百年目の大回想
2023年2月25日[土]～4月2日[日]



遠藤彰子(えんとうあきこ)
1947年東京都生まれ。武蔵野美術短期大学卒。1986～87年文化庁芸術家在外研修(インド)。1986年安井賞展安井賞受賞、2007年芸術選奨文部科学大臣賞受賞、2014年紫綬褒章受章。1999～2011年山本鼎版画大賞展審査員。武蔵野美術大学名誉教授・二紀会理事、女流画家協会委員。

